

Reborn こころのふるさとフォーラム 2019 発表報告

青年団は、地域に居住する20～30歳代の青年によって組織されています。青年団の全国組織として「日本青年団協議会(日青協)」があり、本部は「日本青年館(東京都新宿区霞ヶ丘町)」に置かれています。日青協が主催する最も大きな事業で、昨年11月10日(土)・11日(日)に開催された「第67回 全国青年大会」では、さいたま蕎麦打ち倶楽部のメンバー8名が「そば打ち体験指導」を行って大好評を得ました。このそば打ち体験指導は日青協からの要請によるものであり、「全国社会教育団体推進協議会」での出会いから生まれた連携の中から始まりました。日青協側から連携関係をさらに進めるため「Reborn こころのふるさとフォーラム 2019(日青協主催、全国知事会など後援)」の中で、全麵協の活動を紹介してもらえないかとの依頼がありました。この依頼を受けて、下記の通り全麵協活動を紹介して来ましたので、その概略などについてご報告いたします。

(広報渉外部 谷端淳一郎)

1. 日時 : 3月2日(土) 午前10時30分～ 3日(日) 午後2時30分
2. 会場 : 日本青年館 8階 会議室 (東京都新宿区霞ヶ丘町4-1)
3. 分科会 : ふるさと再生×地域づくり (全麵協の地域づくり貢献活動を主に紹介)
4. 発表概要

①そばについての紹介

- 1)そばの健康効果 2)そばの歴史と文化

②全麵協の紹介

- 1)歴史・活動理念 2)そば打ち段位認定

③そばによる「地域づくり」貢献活動の紹介

- 1)そば博・そば祭り 2)親子そば打ち体験教室 3)そば打ち体験活動 4)海外交流・貢献

④青年団活動への提案

- 1)高校生そば打ち選手権大会の紹介

- 2)「全国青年大会」にそば打ち種目を!

という順で、写真と図表を用いたパワーポイントで説明しました。参加者からは「そば打ちに段位があるとは知らなかった」「美味しいそばを食べたくなった」「そば打ちを覚えたいが、どこで習うことができるか」などの声を多く聞きました。

5. 参加を通して思ったこと

①全麵協は組織外の活動によって評価される

発表の中で最も評価されたのは、『そばによる「地域づくり」貢献活動の紹介』です。主幹事業である「素人そば打ち段位認定事業」は最も重要ですが、社会的には段位認定者が協力し合って組織の外に対して行っている「社会的な活動」によって評価されるのです。

②日青協と連携して「全国高校生そば打ち選手権大会」を活かして行こう

日麵連主催の「高校生そば打ち選手権大会」は、全麵協会員が高校生の指導にあたるなど全面的な支援と協力を行っています。当大会に出場する高校生の多くが卒業後は地元企業などに就職していますが、そば打ち活動は高校卒業と同時に終わっているのがほとんどです。しかし、青年団が「そば打ち活動」を始めることによって、高校卒業後は青年団員としてそばを打って地域の行事等で腕前を振ることが出来るのです。今後も日青協と連携しながら、具体的な活動の継続と発展方策について検討を続けて行きます。



出会って、集って、つながって
日本の元気は、地域から 地域の元気は、若者から

Reborn こころの ふるさと フォーラム 2019

～今こそ農山漁村と
都市との連携と共生を～

2019(平成31)年

3月2日(土)～3日(日)

日本青年館

東京都新宿区霞ヶ丘町4-1

世代間・
異業種交流に
関心のある
人たち集合

地域振興に
関心のある人たち
集合

社会教育、
青少年教育の
振興に関心のある
人たち集合

趣 旨

私たちの社会構造に様々な歪みが生じてきました。人口の流動化、都市化の進展でうまれた日本列島の過疎化/過密化、そして、総人口のわずか4%という農山漁村に対して、依然として進む東京圏、大都市圏の人口集中。疲弊した社会構造が、農山漁村のみならず、都市部の人々の生き方にも不安を与えています。その一方で、若者を中心に「田園回帰」や「地元志向」の流れが生まれ、地域力を支えてきたつながりや「こころの空洞化」の回復にも結びついています。

「Rebornこころのふるさとフォーラム2019」は、それぞれの立場で地域づくりの現場に携わる人たちが集い、学習や交流を通じて、課題を深めるだけでなく、参加者同士をつなぐ新たなネットワークの構築、活動の輪を広げ、地方創生の国民的運動の構築をめざしています。本フォーラムの実行委員会と事務局団体を担う日本青年団協議会は、地域にねざす「青年団」の全国組織として、戦後一貫して地域づくりを通じた若者の自己成長、集団形成、世界平和の理念を大切に、広い分野にわたり活動に取り組んでいます。その中には、アジアをはじめとした海外の人とも古くからつながってきた交流の歴史をあわせもちます。

今、複雑な社会構造の中にあふれる様々な地域課題や生活課題を解決していくために、あらゆる立場の人たちが連携し、人々と連携していくことが、改めて求められています。ぜひ、本フォーラムを通じて、大地と共生し、いのちやくらしの根っこにある「ふるさと」を見つめ、生きにさや生きづらさを抱えるからこそ、一人ひとりが幸せに、いきいきと、豊かに生きていくきっかけにいきましょう。

日本の元気は、地域から 地域の元気は、若者から。

※一部のプログラムは「第64回全国青年問題研究集会」と合同で開催します。



日本青年館までのアクセス

- 電車でお越しの方
- 東京メトロ銀座線 外苑前駅3番出口 徒歩5分
- 都営大江戸線 国立競技場駅A2番出口 徒歩10分
- 中央線・総武線(各停) 千駄ヶ谷駅 徒歩12分
- 中央線・総武線(各停) 信濃町駅 徒歩12分

参加要領

募集締切—2019年2月21日(木)

定員—100名

参加費用—参加費：3,240円 宿泊費：1泊7,560円

(全て税込) 情報交換会費：5,000円

お申込み—裏面の申込書にお名前、職業・所属、年齢、住所、電話番号、メールアドレスをご記入のうえメールまたはFAXでお申込ください。

主催

日本青年団協議会、一般財団法人日本青年館
「Rebornこころのふるさとフォーラム2019」実行委員会

事務局団体

日本青年団協議会

後援(予定)

全国都道府県議会議長会、全国知事会、全国市議会議長会、全国市長会、全国町議会議長会、全国町村会、全国山村振興連盟、公益財団法人日本離島センター、一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構、一般社団法人共同通信社、オーライ!ニッポン会議、一般財団法人地域活性化センター、公益財団法人あしたの日本を創る協会、日本社会教育学会、社会教育推進全国協議会、公益社団法人全国公民館連合会、公益社団法人全日本郷土芸能協会、全国社会福祉協議会、中央青少年団体連絡協議会、特定非営利活動法人地域交流センター、公益社団法人日本青年会議所、公益財団法人社会教育協会、日本放送協会、株式会社時事通信社、日本経済新聞社、読売新聞社、全国地方新聞連合会、中日新聞東京本社(以上予定)

※10月16日現在 都合により予定を変更することがございます。

【第一分科会】 2日 (土) 14:00~16:00

テーマ1 「青年・若者×地域づくり」

青年団をはじめとする若者団体の再生をきっかけとし、地域づくりの未来を担うべき世代を育てるにはどうすべきか。若者団体はもとより、公民館や学校の実践、または学校・地域・家庭の連携など、異なる分野がどうつながり、今後の青少年の教育をつくっていくのか考えます。

(予定報告事例)①緑のふるさと協力隊員による意見発表 ②青年団の実践

テーマ2 「災害復興×地域づくり」

東日本大震災や平成30年7月豪雨など、多くの自然災害が毎年日本列島を震撼させる中、災害と向き合い、いのちの現場を支える当事者の姿があります。まちやこころの復興に向けた取り組みに学ぶだけでなく、被災地の人たちがボランティアとともに、未来や生きることをどう描いてきたのかに触れ、今後の地域づくりを考えます。

(予定報告事例)①東日本大震災、熊本地震、平成30年7月豪雨の被災地の人たち(1~2名)

テーマ3 「ふるさと再生×地域づくり」

衣・食・住をテーマに、地域資源、地域環境の保全と活用を通じて、人々の暮らしを豊かなものにする活動が、全国に多く存在します。また、わが国の財産もある離島の文化は、私たちにつながる大切さを投げかけています。地域に存在する様々な資源を活用したまちづくり、人づくりの取り組みから、今一度地域づくりについて見つめます。

(予定報告事例)①全通協によるそば打ちを通じた地域づくり ②離島の青年たちの実践

【第二分科会】 2日 (土) 16:00~18:00

テーマ4 「水源の里に学ぶ地域づくり」

「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」。全国には過疎・高齢化が進行し、コミュニティの維持など地域活動が困難な状況に直面している「水源の里(いわゆる限界集落)」が多数存在します。ここでは、流域連携の必要性を全国にアピールし、消滅の危機に直面する集落どうしがつながり、いきいきと生きる事例に学びます。

(予定報告事例) 里山交流大学の実践

テーマ5 「次世代の育成×地域づくり」

地域活動に取り組んできた先輩たちの立場から、地域で活動する若者へのエール、そして具体的な支援のあり方や今後の地域づくりを考えます。

(予定報告事例)①青年団OB・OGの実践 ②郷土芸能

テーマ6 「日本の地域からひろがる私たちの夢」

様々な形で海外から学びに来ている留学生が最も関心を持っているのは、日本の地域のありようです。わが国では毎年様々な分野にわたり若者による海外での国際協力活動が行われています。相互の実践から、これからの地域づくりについて考えます。

(予定報告事例)①JICAボランティアの帰国隊員の報告 ②海外留学生の実践報告

【第三分科会】 3日 (日) 9:00~10:45

第一、第二分科会の参加者が一堂に会し、それぞれの悩みや疑問、感じたことをお互いに語り合い、住みよい地域社会の実現をめざし深めていきます。

■ お申込・お問い合わせ

Rebornこころのふるさとフォーラム2019事務局 (日本青年団協議会 社会部)

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番1号 日本青年館5階

TEL: 03-6452-9025 FAX: 03-6452-9026 Email: shakai_josei@dan.or.jp

私たちはこのフォーラムを通じて地方創生の国民的運動の構築をめざします

参加申込書

| | | |
|------|-------------------|----|
| お名前 | 職業・所属 (部署、学校名・学部) | 年齢 |
| 住所 〒 | 電話番号 | |
| | メールアドレス | |

| 時間 | 3月2日(土) | 3月3日(日) |
|-------|--|---------------------------|
| 9:00 | | |
| 10:00 | 受付 オープニング | 第三分科会 (参加者によるトークセッション) |
| 11:00 | 講演「地域と働く仲間を豊かにする」(仮称) 講師：上村光太郎さん (株式会社/シオス上村農園 代表) | 総括講義 |
| 12:00 | 昼食 | 昼食 |
| 13:00 | | 全国「地域青年実践大賞」表彰式 |
| 14:00 | | エンディング |
| 15:00 | 第一分科会 | |
| 16:00 | | |
| 17:00 | 第二分科会 | |
| 18:00 | | |
| 19:00 | 情報交換会(夕食交流会) ※「第64回全国青年問題研究 集会」との合同プログラム です。 青年団はじめ各団体の情報 資料の提供や情報交換の 場としてご利用ください。 | |
| 20:00 | | |
| 21:00 | フリースペース | |